

事業実施結果報告書

起案日	令和5年8月18日	成果						
事業名	大村湾ごみゼロカーヌー・SUPツーリング	当日は天気にも恵まれ絶好のマリンスポーツ日和となり、大村湾について「見て」、「学んで」、「体験して」、「食す」という充実したイベントとなった。 参加者からは「実際に大村湾を体感できた」や「なかなかできない貴重な体験ができ、引率した子供たちも目を輝かせていました!」、「定期的に同様のイベントを開催してほしい」等、好意的な感想が多かった。 このように参加者が「見て」、「学んで」、「体験して」、「食す」ことで大村湾の魅力、ひいてはマリンスポーツの楽しさを伝えることができたことは成果と考える。						
実施日・回数	7月22日 1回							
曜日等・時間	土曜日 9時30分～16時							
場所	B&G海洋センター ウォーターフロント公園							
対象者・数	応募者:48名							
持参品等	-							
募集方法	町広報 インスタグラム 町HP テレビ長崎HP							
募集期間・申込	5月1日～5月22日・電話・FAX・窓口・二次元バーコード							
応募者多数時	抽選・メールで通知							
講師への評価	ツーリング前の事前学習を県地域環境課 前田氏にお願いし、県環境保健研究センター 粕谷氏に講演をいただいた。クイズ形式の講演が多く大人も子供も大村湾の生物や閉鎖的の海域について楽しく学習ができた。 また、県地域環境課 前田氏人にはツーリングも参加していただき、講演後も熱心に指導をしていただいた。 今後、同様のイベントを実施する場合は、再度講演を依頼したい。							
実施後の評価 (担当係・担当者)	参加者は総勢48名とマリナーフェスタと比べて見劣りするが、大村湾を「見て」、「学んで」、「体験して」、「食す」という貴重な体験ができるイベントとなった。この一連の流れを一日で体験できるイベントは時津町近辺ではなかなかないため、担当としても非常に良いイベントができたと思う。 参加者からはもちろんのこと、大村湾漁協職員や県地域環境課職員、日本財団からも「良いイベントが実施できましたね」とイベントについて一定の評価もいただいた。 次年度以降も日本財団からの補助を受けられるのであれば、ツーリングコースや実施内容を変更し継続して実施し、多くの町民や長崎県民に大村湾の魅力を発信していきたい。							
アンケート結果	別紙のとおり							
問題点等と対策	ツーリングの距離が往復約10キロということもあり、ツーリングの際に先頭と最後尾で30分ほど差が出た。救助艇を先頭、中間、最後尾に配置していたため事故等は発生しなかったが、イベントを進行していくうえで30分の差は後半の進行に支障をきたした。次年度以降も実施する場合は、距離を短くするか対象年齢を上げる等、検討していく。※今回は対象年齢小学4年生からとしていたため、5年生からにするか検討が必要。 その他については、ケガ人も出ず、最後の集合写真まで無事にイベントを進行し終了することはできた。							
決算額	日本財団補助金	2,034,000 円	消耗品費	円	賃金	円	備品購入	円
	町負担分	508,744 円	印刷製本費	円	旅費	円		円
	旅費	円	タクシー代	円	マグロの解体	円	合計	2,542,744 円
雨天時対応結果	対応方法	● 決行	中止	延期	再検討	延期日		
	決定責任者	教育長	次長	課長	担当者	その他		
	連絡方法	防災無線		電話	連絡時間			
実施結果報告	作成者	齋藤 健	アンケートの有無	○あり	なし			

※実施当日の資料等を必ず添付してください。